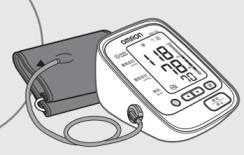


取扱説明書

HEM-7130

オムロン 上腕式血圧計



All for Healthcare

1887357-0F

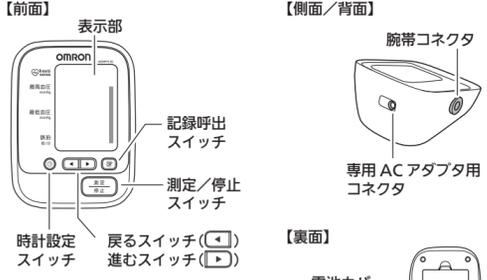
1. 入っていますか？

箱の中には次のものが入っています。不足のものがありましたら、オムロンお客様サービスセンター（☎0120-30-6606）までご連絡ください。

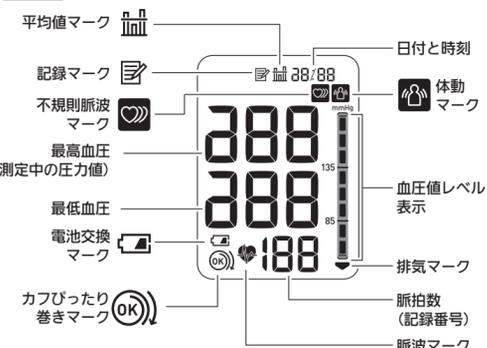
- 本体
- 腕帯（型式 HEM-CR24）
- お試し用電池（単3形アルカリ乾電池4個）
- 取扱説明書（本書：品質保証書付き）
- 医療機器添付文書
- EMC 技術資料

2. 各部の名前

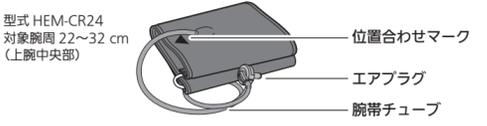
本体



表示部



腕帯



- 腕帯は消耗品です。
- 血圧を正確に測るために、1年に1回の交換をおすすめします。
- 空気漏れが生じたら、別売品をお買い求めください。（☎「16. 別売品」）

3. 安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。ここに示した内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

- 警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定されます。
 - 注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害*の発生が想定されます。
- *物的損害とは、家屋や家財、および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。

警告

- 一般的なことについて**
- けがや治療中の腕で測らない。
 - 点滴、輸血をしている腕で測らない。
 - 症状の悪化につながる可能性があります。
 - 可燃性ガスや高濃度酸素環境下など火災や爆発の恐れがある場所で使わない。
 - 火災や爆発の原因となります。
 - 乳幼児などの手の届くところに保管しない。
 - エアプラグや電池など小さい部品を飲み込んだり、腕帯チューブや電源コードなどで首が絡まったりし、窒息や傷害に至ることがあります。

注意

- 一般的なことについて**
- 測定結果の自己判断をしない。
 - 治療を自己判断で行わない。
 - 耐用期間を超えて使わない。
 - 医療機関や公共の場所において不特定多数で使わない。
 - 乳幼児など自分で意思表示できない人に使わない。
 - 症状の悪化や傷害の発生、誤動作の原因となります。

- 次のいずれかの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。
- 使用中に皮膚炎など肌の異常を感じる場合
 - 血行障害が長く発生する場合
 - 透析治療中や動脈瘤つらがある場合
 - 重度の血行障害や血液疾患がある場合
 - 傷害を負う原因となります。

次のいずれかの状態や症状をお持ちの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。

- 一般的な不整脈（心房性、心室性早期収縮、心房細動など）
- 動脈硬化症・糖尿病・腎臓疾患・かん流低下
- 妊娠中や子宮前症（妊娠中毒症）
- 乳腺切除した方・未成年の方
- 正しく測定できないことがあります。

- 異常の発生を感じたとき、腕帯を腕につけたままにしない。
- 腕帯や腕帯チューブに折りじわが付いたまま測らない。
- 腕帯チューブのねじれやもつれがある状態では測らない。
- 必要以上の頻度で測らない。
- 必要以上に加圧しない。
- 傷害を負う原因となります。

- 指定外の腕帯やエアプラグを使わない。
- エアプラグを抜くときにエアプラグを持たずに腕帯チューブを引っ張らない。
- 本体や腕帯などを分解したり、改造したりしない。
- 本体の故障や破損、傷害を負う原因となります。あるいは、正しく測定できないことがあります。
- 測定中に血圧計の近くで携帯電話やスマートフォンを使わない。
- 電気メスなど電気手術器やMRI、CT スキャナーなどの医療機器がある場所で使わない。
- 乗り物内で使わない。
- 血圧測定以外の目的で使わない。
- 危険や誤動作の原因となります。

- 測定中に体を動かさない。
- 寒さなどで体が震えるときに測らない。
- 対象腕周外で使わない。
- 腕帯の巻き方や測定姿勢を不適切にしない。
- 指定外の場所や条件で保管したり、使ったりしない。
- 使用するところと保管場所に温度差があるときは、すぐに測らない。
- 正しく測定できないことがあります。

- 電池について**
- 電池の液が目に入ったら放置しない。すぐに多量の水で洗い流し、医師の指導を受ける。
 - 電池の⊕/⊖極を間違えて入れない。
 - 電池を使い切ったときや長期間使用しないとき、電池を本体内に入れたままにしない。
 - 電源が入ったまま、電池交換を行わない。
 - 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
 - メーカーや銘柄の異なる電池を混ぜて使わない。
 - 指定外の電池を使わない。
 - 推奨期限の過ぎた電池を使わない。
 - けがの発生や本体故障の原因となります。

ACアダプタ（別売）について

- コンセントや延長コードなど配線器具の定格を超えて使わない。
- コードやプラグが傷んだ状態で使わない。
- 交流 100 V 以外で使わない。
- 指定外の AC アダプタを使わない。
- 電源プラグを抜くときに AC アダプタ本体を持たずに電源コードを引っ張らない。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが緩いまま使わない。
- ほこりなどゴミやヒンが付着したまま使わない。
- 長時間使用しないとき、電源プラグを差し込んだままにしない。
- 電源プラグを差し込んだまま、手入れを行わない。
- 破損させない（電源コードを傷つけない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、使用時に束ねない、重いものを載せない、挟み込まない）
- 火災や感電、本体故障の原因となります。
- 電源プラグの抜き差しが困難な場所では使わない。
- 異常発生時に電源の遮断が遅れ、事故や火災の原因となります。

4. 準備をする

1 本体裏面の電池カバーを外す

つめを押して持ち上げます。



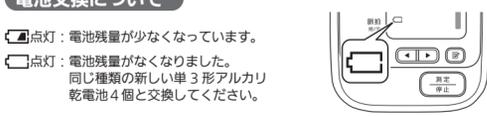
2 電池を入れる

はねの出ている方が ⊖ です。



3 電池カバーを閉める

電池カバーはカチッと音がするまで閉めます。



電池交換について

- 点灯：電池残量が少なくなっています。
- 点灯：電池残量がなくなりました。同じ種類の新しい単3形アルカリ乾電池4個と交換してください。

- 電池は、本体の電源を切ってから交換してください。
- 使用済みの電池は、お住みの市区町村の指導に従って処分してください。

重要

単3形アルカリ乾電池で約300回測れます。（当社試験条件による）付属の電池はお試し用です。300回以内に切れることがあります。

5. 時計を合わせる

- 電池を交換したら、時計を正しく合わせ直してください。
- 長期間使用せず、時計が合っていないときは、記録をすべて消去してから、時計を正しく合わせ直してください。

1 電源の切れた状態で時計設定スイッチを押す



2 年月日と時刻を合わせる



3 設定が完了したら測定/停止スイッチを押して、電源を切る

電源を切り忘れても約2分後に自動的に電源が切れます。

6. 腕帯を巻く

- 腕帯を正しく巻きましょ。
- トイレは先にすませましょ。
- 寒すぎたり暑すぎたりしない部屋で測りましょ。
- 素肌か、測手の肌着などの上から測ってください。
- 厚い衣服を着ているときは、腕まくりをせずに、脱いでから測ってください。

1 腕帯のエアプラグを腕帯コネクタにしっかりと差し込む

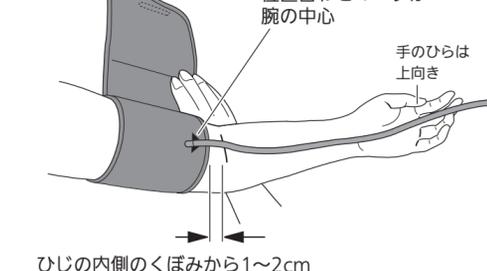


2 左腕を腕帯におとす

腕帯チューブが、手のひらの先に向くようにします。位置合わせマークが、中指の延長線に来るようにします。



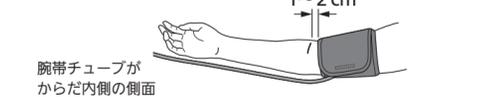
3 腕帯の端を外側に引っ張りながら腕帯の位置を決める



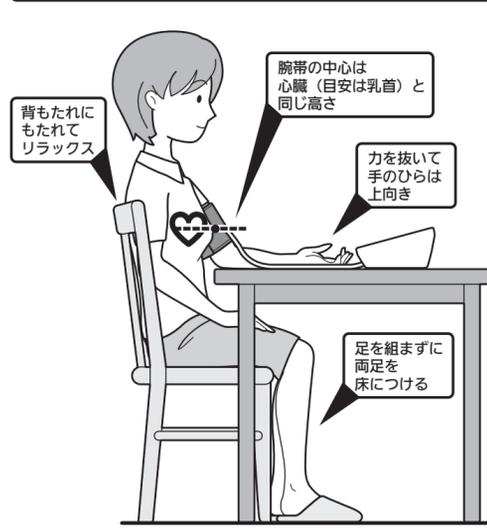
4 面ファスナーで固定する

腕と腕帯の間にすき間ができないように、腕の形に沿ってびったり巻いてください。腕帯が斜めになったり、腕帯チューブの上から固定したりしても、測定結果に影響はありません。

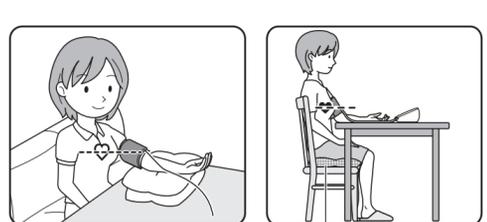
右腕で血圧を測るとき



7. 正しい姿勢を確認する



腕帯の中心が心臓の高さに合っていない場合は、下図のようにクッションやタオルなどをひじの下に置いたり、椅子に座ぶとんを敷いたりして、高さを調整してください。

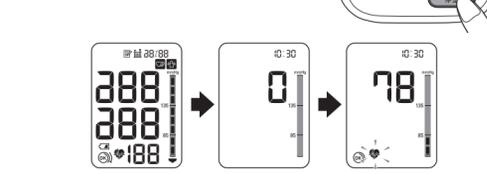


8. 血圧を測る

- 最高血圧が210mmHgを超えると予測されるときは、「9. 手動加圧で測る」を参照してください。
- 測定中に腕帯を触らないでください。
- 続けて測るときは、間隔を空けてください。

1 測定/停止スイッチを押す

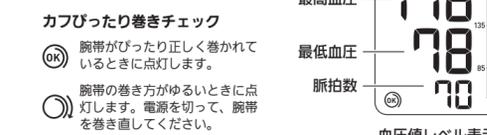
電源が入り、自動的に測定が始まります。



測定を中止したいときは、測定/停止スイッチを押して、電源を切ってください。腕帯の空気が抜けます。

2 測定結果を確認する

測定結果は自動的に記録されます。（☎「10. 測定記録を見る」）



3 腕帯を取り外す

4 測定/停止スイッチを押して、電源を切る

電源を切り忘れても約2分後に自動的に電源が切れます。

記録をしないで測るとき

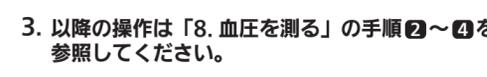
1 測定/停止スイッチを3秒以上押し続ける

日付と時刻表示部分が消灯します。



2 日付と時刻表示部分が消灯したら、測定/停止スイッチを離す

加圧が始まり、測定を開始します。



3 以降の操作は「8. 血圧を測る」の手順2~4を参照してください。

9. 手動加圧で測る

最高血圧値が210 mmHgを超えると予測されるときや、エラー表示「E2」が頻繁に出るときは、手動加圧で測ってください。

- 手動加圧をする前に「6. 腕帯を巻く」「7. 正しい姿勢を確認する」をよく読んでください。

1 腕帯を巻いて測定/停止スイッチを押す

加圧が始まります。

2 加圧が始まったら、もう一度、測定/停止スイッチを押し、そのまま押し続ける

- 手動加圧では、299 mmHg まで加圧することができますが、必要以上に加圧をしないでください。一時的に内出血が発生することがあります。
- 300 mmHg 以上加圧するとエラーになります。

3 圧力値が予測される最高血圧値よりも約40~50 mmHg 高くなったとき、測定/停止スイッチを離す

減圧が始まり、測定を開始します。

4 以降の操作は「8. 血圧を測る」の手順2~4を参照してください。

10. 測定記録を見る

60回の測定結果が記録されます。測定記録が60回を超えると、古い記録は消去され、新しい測定結果が記録されます。

1 記録呼出スイッチを押す

最も新しい測定結果が表示されます。



- 戻る（←）スイッチを押すごとに、新しい測定記録から順に表示されます。
- 進む（→）スイッチを押すごとに、古い測定記録から逆に表示されます。
- 戻る/進む（←/→）スイッチを押し続けると早送りできます。

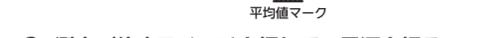
2 測定/停止スイッチを押して、電源を切る

平均値を表示する

最新の測定から、10分以内に測った測定記録（最大3回）の平均値です。短時間に続けて測ったときの参考にしてください。

1. 記録呼出スイッチを3秒以上押し続ける

平均値が表示されます。

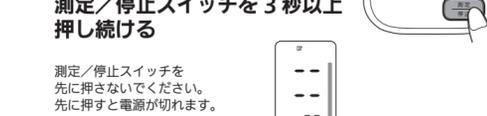


2. 測定/停止スイッチを押して、電源を切る

記録を消去する

記録がすべて消去されます。測定記録を1つずつ消去することはできません。

1. 測定記録表示中に記録呼出スイッチを押しながら、測定/停止スイッチを3秒以上押し続ける



測定/停止スイッチを先に押さないでください。先に押すと電源が切れます。

2. 測定/停止スイッチを押して、電源を切る

裏面に続きます

11. 保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従った正常な使用状態で、お買い上げ後1年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
- 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
- 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - 品質保証書の提示がない場合。
 - 品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名を記入のない場合、あるいは字句を書き替えた場合。
 - 消耗部品。
 - 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
- 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものではありません。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 補修用部品は製造打ち切り後、最低5年間保有しています。

品質保証書	
お客様名	販売店
加圧型名 HEM-7130	お買い上げ店名
ご芳名	住所
ご住所	TEL ()
TEL ()	お買い上げ日 年 月 日

製造販売元 オムロンヘルスケア株式会社
〒617-0002 京都府向日市寺町1-9-53番地

製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロンヘルスケア お客様サポート
<http://www.healthcare.omron.co.jp/support/>
 オムロンお客様サービスセンター
 TEL 0120-30-6606（通話料無料） FAX 0120-10-1625（通話料無料）
 受付時間9:00~19:00（祝日を除く月~金）
 〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370
 ※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただきます。

